

2018年2月1日

## 【調査レポート】

**パナマ籍タンカーSANCHI と香港籍ばら積み船 CF CRYSTAL 号の衝突海難の経過  
 ～各国政府・国際機関からの公表内容～**

 海洋政策研究所  
 研究員 塩入 同

2018年1月6日に中国上海の沖合 160 海里の東シナ海海上で発生した海難に関し、各国政府・国際機関が公表した内容をもとに整理し時系列に取りまとめたので、次のとおり報告する。

## 1. 概要

2018年1月6日（土）20:00（中国標準時：UTC+08:00）頃、パナマ船籍のタンカー SANCHI 号が、中国上海の沖合 160 海里（約 300km）の東シナ海の海上で、香港籍のばら積み船 CF CRYSTAL 号と衝突・炎上し、南東方向へ漂流し、日本の排他的経済水域、北緯 28 度 22 分、東経 125 度 55 分、水深 115m の海底に沈没した。

当時 SANCHI 号は、軽質油（コンデンセート）136,000 トンを積載し、イランの Asaluyeh 港から、韓国の大山（DAESAN）港へ向かっていた。また CF CRYSTAL 号は、穀物 64,000 トンを積み、米国から中国広東に向かっていた。それぞれの船には、SANCHI 号に 32 名（イラン人 30 名、バングラディッシュ人 2 名）、CF CRYSTAL 号に中国人 21 名が乗り組んでおり、衝突後、中国の国家海洋局および交通運輸部を中心に韓国の海洋警察庁海警船や日本の海上保安庁巡視船などが連携し、船舶・航空機を用いた救助・消火・油防除活動にあたったが、SANCHI 号の乗組員 32 名が犠牲となった。

沈没した海域は、日中漁業協定（1997 年）の日中暫定措置水域に該当し、北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）が対象とする範囲外で、NOWPAP の対象範囲よりも南側に位置している。

## 2. 事故発生後の各国政府等からの公表内容

事案 日付	中国政府からの公表内容	日本政府からの公表内容	その他(米・韓・イラン・ IMO)からの公表内容	出典
01/07	・交通運輸部は、海巡 01 の他、救助船の東海救 101、117 などを派遣し現地での指揮、搜索救助活動を開始。 ・韓国海洋警察庁の航空機 1 機、海警船 1 隻が現場海			・中国交通運輸部 01/07 <sup>1</sup>

	<p>域に到着したと報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通運輸部は、CF CRYSTAL 号の乗組員 21 名が周辺漁船により無事救助、SANCHI 号の 32 名が行方不明と公表。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・米海軍第 7 艦隊は、航空機 (P-8A) を衝突海域に派遣した。航空機は沖縄嘉手納基地に戻るまでの間に 3,600 平方マイルの国際搜索救助活動を行ったが乗組員は発見されなかったと報告した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ U.S. 7th Fleet Public Affairs 01/07<sup>2</sup></li> </ul>
01/08	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国政府は海難事故へ最大限対応していく必要性を認識しており、搜索救助に参加する国々へ感謝の意を表明。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国外交部定例記者会見 01/08<sup>3</sup></li> </ul>
01/09	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通運輸部は SANCHI 号の乗組員 1 名の遺体を收容した。また救助体制を拡大し、海巡 01 を中心とした 13 隻で 900 平方海里を搜索。波高 3m、北西の風があり、有毒ガス対応のマスク、ガス検査器を装備した。</li> <li>・海事局に事故調査チームを編成した。</li> <li>・上海海上交通局は現場周辺 10 海里の航行を制限する警告を発令。また、CF CRYSTAL 号は救助船東海救 118 の支援の下で舟山へ回航。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国交通運輸部 01/09<sup>4</sup></li> </ul>

01/10	<p>・国家海洋局の海洋環境監視観測センターの専門家より、当面の間は中国沿岸海域の生態環境へは影響は及ばないとの見解を示す。</p> <p>・交通運輸部は、日本の海上保安庁巡視船「こしき (KOSHIKI)」が 12 時ごろに現場に到着したことを報告。</p> <p>・10 から 11 日は爆発が再開し救助船舶が近づけない状況となる。</p>			<p>・中国国家海洋局 01/10<sup>5</sup></p> <p>・中国交通運輸部 01/11<sup>6</sup></p> <p>・中国交通運輸部 01/15<sup>7</sup></p>
01/11		<p>・海上保安庁は、「東シナ海、火災タンカー漂流」の情報を発信。</p> <p>※情報は状況の経過とともに WEB から削除される。</p>		<p>・日本海上保安 (NAVTEX 航行警報)</p>
01/12	<p>・国家海洋局が HP 上で日々の汚濁状況などの監視・観測情報の発信を開始。</p> <p>※更新情報は、中国国家海洋局「海洋要聞<sup>8</sup>」に日々掲載される。</p>			<p>・中国国家海洋局 01/12<sup>9</sup></p>
01/13	<p>・中国の救助員が爆発の危険性がある SANCHI 号に上がる。船内は有毒ガスと高温で捜索ができず、デッキで 2 名の遺体を発見し収容、また VDR (航海データ記録装置) を回収。</p>			<p>・中国交通運輸部 01/15<sup>10</sup></p>

01/14	<p>・12:30頃から再び爆発し、炎が船体のすべてに渡り、炎の高さは 800～1,000m に達し、船体が沈み始め 16:45 に SANCHI 号は沈没。場所は北緯 28 度 22 分、東経 125 度 55 分の海域。</p>		<p>・イラン大統領はタンカー乗組員の家族らに哀悼の意を表明。</p>	<p>・中国交通運輸部 01/15<sup>10</sup>  ・イラン・イスラム共和国 01/14<sup>11</sup></p>
01/15	<p>・中国は、事故発生後からこれまでの間に、海巡 01 の指揮の下、10 隻余の救助船を組み合わせ、SANCHI 号を中心に 1,000 平方海里余りの水域において捜索活動を展開したと報告。</p>	<p>・海上保安庁は、「奄美大島西、漂流火災タンカー沈没」の情報を発信。 ※情報は状況の経過とともに WEB から削除される。</p>	<p>・国際海事機関 (IMO) は SANCHI 号の沈没に関して哀悼の意と、国際捜索救助活動に携わる人たちへの敬意を表し、今後の汚染を抑えるための技術的支援の用意があると表明。</p>	<p>・中国交通運輸部 01/15<sup>7</sup>  ・日本海上保安庁 (NAVTEX 航行警報)  ・IMO 事務局長 Kitack Lim 01/15<sup>12</sup></p>

<p>01/19</p>	<p>・ SANCHI 号の事故の経過および、中国政府、党、指導者が行ってきた遭難捜索救助に係る一連の調整や指示命令を振りかえた。困難な状況の中で国際条約に従い、人命最優先に活動してきたこと、空と海からの8,800平方kmに及ぶ捜査救助活動、イラン・バングラディシュやIMO などへの状況通報や、北西太平洋行動計画の下で、日本・韓国・ロシアへ活動状況を報告。また、国際法・国際条約に基づく沈没船の引上げや油濁対応など、事故処理の今後について表明がなされた。</p>		<p>・ 韓国は SANCHI 号が積荷の軽質油 153,200 キロリットルの他に、バンカーC重油 1,800 トン、ディーゼル油 100 トン、潤滑油 20 トンなど約 1,900 トンの油を搭載していると推定していることに言及。また、現場の海難対応は、中国が主管となって進められていること、その上で韓国は、海洋警察庁の警備艇を派遣し、捜索救助・油除去作業にあたらせ、そこから現場の状況報告を受けてきたという説明がなされた。そして今後、油濁は韓国沿岸・済州島沿岸に到達する可能性は低いと考えているが、船舶・航空機</p>	<p>・ 中国交通運輸部 01/19<sup>13</sup></p> <p>・ 韓国海洋水産部 プレスリリース 01/19<sup>14</sup></p>
--------------	--	--	--	---

			による観測や韓国航空宇宙研究院・海洋科学技術院による観測・予測を継続していくとの見解が示された。また、海洋環境管理公団など国内の油濁防除の協力体制の確立、水産物の安全確保のための安全検査体制に万全を期していくとの考えが示された。	
01/20	・水中 ROV を用いて海底に沈む SANCHI 号の船体とハッチなどの損傷状況を確認。			・中国交通運輸部 01/23 <sup>15</sup>
01/22	・国家海洋局は、これまでの海域浄化や環境モニタリングの成果を小括した。また英国ロンドンで 22 日に開催された IMO の第 5 回船舶設計・建造小委員会 (SDC5) では、今回の海難事故について各国が言及し、追悼の意を表すとともに、救助者の勇気を賞賛した。			・中国国 家海洋局 01/23 <sup>16</sup> ・中国交 通運輸部 01/24 <sup>17</sup>
01/26	・中国、イラン、パナマ、香港特別行政区は 01/25 に合同事故調査のための協定に合意したことを公表し、IMO などの関連規則に従い今後の合同調査を進めていくことへの言及がなされた。			・中国交 通運輸部 01/26 <sup>18</sup>

### 3. 海難関係船舶の諸元

<p>SANCHI 号<sup>※</sup></p> <p>船籍：パナマ</p> <p>全長：274.177m</p> <p>総トン数：85,462 トン</p> <p>竣工：2008 年</p> <p>IMO No：9356608</p> <p>船級協会：DNV GL</p> <p>船主：Bright Shipping Ltd</p> <p>運航：National Iranian Tanker Company</p> <p>※ <a href="http://vesselregister.dnvgl.com/VesselRegister/vesseldetails.html?vesselid=27100">http://vesselregister.dnvgl.com/VesselRegister/vesseldetails.html?vesselid=27100</a></p>
<p>CF CRYSTAL 号<sup>※</sup></p> <p>船籍：香港</p> <p>全長：217m</p> <p>総トン数：41,073 トン</p> <p>竣工：2011 年</p> <p>IMO No：9497050</p> <p>船級協会：AMERICAN BUREAU OF SHIPPING</p> <p>船主：CP INTERNATIONAL SHIPMANAGEMENT</p> <p>運航：CP INTERNATIONAL SHIPMANAGEMENT</p> <p>※ <a href="https://www.eagle.org/safenet/record/record_vesseldetailsprinparticular?ImoNum=9497050">https://www.eagle.org/safenet/record/record_vesseldetailsprinparticular?ImoNum=9497050</a></p>

(了)

<sup>1</sup> [http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180107\\_2969411.html](http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180107_2969411.html)

<sup>2</sup> <http://www.c7f.navy.mil/Media/News/Display/Article/1409720/us-navy-aircraft-joins-search-and-rescue-efforts-for-missing-mariners-in-east-c/>

<sup>3</sup> [http://www.fmprc.gov.cn/web/wjdt\\_674879/fyrbt\\_674889/t1524169.shtml](http://www.fmprc.gov.cn/web/wjdt_674879/fyrbt_674889/t1524169.shtml)

<sup>4</sup> [http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/xiangguanziliao/201801/t20180119\\_2981170.html](http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/xiangguanziliao/201801/t20180119_2981170.html)

<sup>5</sup> [http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw\\_90/201801/t20180110\\_59924.html](http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw_90/201801/t20180110_59924.html)

<sup>6</sup> [http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/xiangguanziliao/201801/t20180119\\_2981172.html](http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/xiangguanziliao/201801/t20180119_2981172.html)

<sup>7</sup> [http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun\\_sec/xiangguanziliao/201801/t20180130\\_2984507.html](http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun_sec/xiangguanziliao/201801/t20180130_2984507.html)

<sup>8</sup> [http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw\\_90/index\\_1.html](http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw_90/index_1.html)

<sup>9</sup> [http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw\\_90/201801/t20180112\\_59951.html](http://www.soa.gov.cn/xw/hyyw_90/201801/t20180112_59951.html)

<sup>10</sup> [http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun\\_sec/xiangguanziliao/201801/t20180130\\_2984508.html](http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun_sec/xiangguanziliao/201801/t20180130_2984508.html)

<sup>11</sup> <http://www.president.ir/en/102384>

<sup>12</sup> <http://www.imo.org/en/MediaCentre/WhatsNew/Pages/default.aspx>

<sup>13</sup> [http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/zhibozhaiyao/201801/t20180119\\_2981390.html](http://www.mot.gov.cn/2018wangshangzhibo/sangjilun/zhibozhaiyao/201801/t20180119_2981390.html)

<sup>14</sup> <http://www.mof.go.kr/article/view.do?articleKey=18637&boardKey=10&menuKey=376&currentPageNo=1>

<sup>15</sup> [http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180123\\_2981913.html](http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180123_2981913.html)

<sup>16</sup> [http://www.soa.gov.cn/xw/dfdwdt/jgbm\\_155/201801/t20180123\\_60098.html](http://www.soa.gov.cn/xw/dfdwdt/jgbm_155/201801/t20180123_60098.html)

<sup>17</sup> [http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180124\\_2982201.html](http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180124_2982201.html)

<sup>18</sup> [http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180126\\_2983066.html](http://www.mot.gov.cn/jiaotongyaowen/201801/t20180126_2983066.html)